

令和8年度第3回東大和市社会教育委員会議要録

1 会議日時

令和8年7月14日（火）午後3時から5時まで

2 会議場所

中央図書館視聴覚室

3 出席者

（1）社会教育委員（6名）

池田議長、半田副議長、橋本委員、杉本委員、杉内委員、中屋委員

（2）事務局（2名）

島田生涯学習課長、荻沢生涯学習課主事

4 欠席者（1名）

藤井委員

5 会議の公開・非公開

公開

6 傍聴者

0名

7 議題

（1）令和8年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う答申について

（2）令和8年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会について

（3）東大和市公共施設再配置計画（案）に対する意見共有について

（4）その他

8 会議資料

資料1：令和8年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う答申について

資料2：令和8年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会研修概要（案）

資料3：公共施設再配置についてのご意見

資料4：第3回東大和市公共施設再配置計画策定懇談会資料

資料5：東大和市生涯学習推進指針（骨子案）

9 議事内容

(1) 令和8年度東大和市社会教育関係団体連合体に対する補助金の交付に伴う答申について

議長から補助金の交付に伴う答申について、皆様からいただいたご意見を文章にまとめ、付帯意見として添えて、提出した旨の報告があった。

(2) 令和8年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会について

・事務局

令和8年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第2ブロック研修会における研修概要（案）について説明した。

・委員

市民団体主催イベントの一覧が知りたい。

・議長

木工チャレンジ、未来基地、高架下の夜市、わんだフルフェス、ビールフェストなど、様々なイベントを行っている団体がある。

・委員

市民団体を市は把握しているのか。また、そういったイベントは市の後援をもらっているのか。わんだフルフェスとはどういうイベントか。

・議長

基本的に市から後援をもらって行っている。わんだフルフェスは南公園で行っている犬のイベントである。

・事務局

後援名義をもらっている団体は把握できる。そうでない団体は、把握できていない。可視化できるように、団体の一覧を作成する。

・議長

市民団体主催のイベントは市民だけでなく、近隣市からの参加者も多い。基本的に無料のイベントである。

・委員

事例発表のテーマとして、スポーツ協会が実施しているスポーツフェスティバルはどうか。

・委員

市の補助金を活用して、スポーツ協会が行っている事業であるが、同じような事業は他市でも行われているので、今回の発表テーマにはふさわしくないと考える。

・委員

子どもたちが地域のことを考えることが大切。子どもたちがどこに魅力を感じているのか、地域と社会教育の関わりを感じられるテーマが良いと考える。

・議長

二小と二中が関わって実施している盛連会主催の南街祭りがある。小学生がポスターを配布したりするなど、学校と連携して実施している。青少対が関わっている祭りもあり、それは子どもが中心となり実施している。

・委員

未来基地はどういう団体なのか。

・議長

大学と連携して、様々なイベントを実施している。最近だと熱気球の体験など、子ども向けの体験イベントが主となっている。

・委員

公民館の活動から始まった団体だと聞いている。

・委員

五中も大学と連携した事業を行っている。

・委員

社会教育関係団体なので、スポーツ協会などの活動事例を発表することも良いと考える。

・委員

スポーツ協会の中には、アイスホッケーやアルティメットなど珍しいスポーツを行っている団体もある。そういった珍しい団体の紹介は可能だと考える。

・委員

プラネタリウムがある市は珍しいと思うので、プラネタリウムの活用についての話も良いと考える。

・事務局

学校教育として、学校の授業でプラネタリウムの見学が行われている。

・委員

博物館と学校の連携が盛んに行われている。また、青少対主催で星空イベントが開催されていた。

・委員

アルティメットは小さい子から大人まで、幅広い年齢層で行われている市民スポーツになっている。東大和の魅力を発表するなら、地域資源を活かした発表ができれば良いと考える。

・副議長

小学校の授業の一環で、地域の人に学ぶことが盛んに行われている。地域の人に話を聞きながら、課題を自分たちで見つけたりしている。それに協力してくれる地域の人がいることが財産であると考え。

・委員

子どもたちは東大和のことを好きな人が多い。ボランティアも盛んに行われている。

・委員

多摩湖は大きな財産である。宿泊施設がなかったが、SAYAMA ベースができて、他県の学生が合宿に来たこともある。「自然」は東大和の魅力を発表する際のキーワードになると考える。

・議長

東大和は良いところがいっぱいある。話そうと思えばいろいろあるが、研修の時間も限られているので、テーマを絞りたい。

- ・委員

地域を絞って、そこをアピールしていくのはどうか。それを社会教育の活動と結び付けることができれば良い。スポーツ系なら、団体の代表者に講師をお願いすることはできる。

- ・委員

統一テーマが共生のまちづくりなので、環境も含めた東大和全体でどういった学びがあるのかを伝えた方が良いと考える。最初に博物館館長から学校の利用状況等を話して、その後に市民団体の方の発表でも良いと考える。

- ・事務局

様々な分野の方を講師で呼ぶ方向性で、分野の案を事務局で示したほうが良いのか、皆さんからいただいた方が良いのかどちらが良いか。

- ・議長

研修会も平日なので、早くしないと講師の都合が合わなくなる。多摩湖などの自然は東大和独自の魅力である。地域の方と学ぶ中学生の職場体験など、学校と地域の連携はできていると考える。

自然、スポーツ・文化、市民団体、学校との連携の分野があると考え。また、青年会議所の団体が主となって行うオールフェストというイベントが開催予定。そのイベントについて話してもらっても良いと考える。

- ・委員

これから開催予定のことではなくて、既に行われた事例発表の方が良いのではないかな。

- ・事務局

会議終了後、分野の候補を4つ程度挙げるので、そのうち2つを選択していただいて、テーマを絞ればと考えている。そこから講師選定をしていく。

(3) 東大和市公共施設再配置計画（案）に対する意見共有について

- ・事務局

公共施設再配置計画（案）について提出のあったご意見を取りまとめた資料について説明した。

- ・副議長

五中を統合することに違和感がある。元々の七小と九小の統合で、小学校は統合して、中学校はそのままの方が良いのではないかな。

- ・議長

公共施設が全部なくなってしまうというような、極端な取られ方をしてしまっている人がいる。そうではなくて、市は皆さんの意見を聞きながら作っていきたいと考えている。しかし、意見をいただける年齢層が高いと思うので、もっと若い人の意見が必要だと考える。

- ・副議長

集会所がなくなってしまう、高齢者が家の近くで集まれる場所がなくなるのは困るという意見はある。

- ・委員

取り壊した跡地はどうなるのか。

- ・議長

そこまではまだ決まっていない。

- ・委員

今は近くに施設があるから集まれているということがある。だからこそ、乗り合いタクシーのようなものがあつた方がいいという考えを書いた。

- ・議長

地域の住んでいる人の人口推移なども見ながら検討している。

- ・委員

多摩地区の他の市では小中一貫校の流れが定着している。

- ・議長

東大和でも小中一貫の動きが前にはあつたが、今はなくなっている。

- ・委員

みんなの学校を作るにあたり、小中一貫校もできるのではないか。

- ・事務局

一旦40年計画にはしているが、10年ごとに見直しがされるため、状況を見ながら検討していく。

いただいた意見を集約して、社会教育委員会からの意見として、再配置担当課に提出する。追記したいことなどあれば、意見をいただきたい。

- ・議長

小中一貫のことを追記しても良いと考える。

- ・委員

八王子などは小中一貫で動いている。小学校の6年間と中学校の3年間を一緒に考えられるのは合理的である。

(4) その他

- ・第3回東大和市公共施設再配置計画策定懇談会の報告について

事務局から、第3回東大和市公共施設再配置計画策定懇談会資料について、説明した。資料について、メールで改めて意見を伺う。

- ・(仮称) 東大和市生涯学習推進指針(素案)の報告について

事務局から、(仮称) 東大和市生涯学習推進指針(素案)の骨子案について説明した。

- ・副議長

本日のまとめをいただいた。

- ・議長

本日の会議はこれで終了とする。次回開催日は、9/15(火) 午前10時からで場所は、中央公民館視聴覚室である。

以上